
地域保健看護

報告者：與座千代子

教育及び実践の課題

公衆衛生看護について講義、演習、および実習の課題の一部に以下の3点があった。

1. 公衆衛生看護に関する国外文献からの知見の習得が不足しているため、教育と実践に反映できていない。日本の公衆衛生看護活動は主に保健師が担っているが、国外ではこの国家資格がない国が大半であり、公衆衛生看護活動を行う看護師の活動形態等が国により異なるため、一律に比較をすることが容易でないことがその要因として挙げられる。このため、国外文献活用の前提として主要国の公衆衛生看護教育制度の把握が必要であった。
2. 公衆衛生看護を実践する上で、看護職者による政策立案や行政職との協働は欠かすことができない能力だが、それについての重要性や具体例を示した国内の文献が少ない。
3. 国内では保健師と看護師の国家資格が異なるため、両者の活動を分けて考えることが多いが、看護職者の人材に限りがある沖縄県の離島や僻地で看護活動を展開していく上ではこれらの職種毎の活動を先に考えるのではなく、まず、住民に必要な公衆衛生看護・臨床看護活動について考えることが求められる。国外では両職種の国家資格が区分されていないため、包括的ケアが実践しやすいという利点がある。このため、国外の公衆衛生看護に関する文献からの知見は離島や僻地の看護職者の活動にも参考となると推測できるが、その知見の習得が不足していた。

活用した論文の概要

EU4 カ国とカナダの3州を対象とした公衆衛生看護の教育と役割の調査を目的とした Hemingway A ら (2012) の論文を活用した。調査方法は、実践役割と教育の分析についての2000年以降のピアレビューを含む文献検討と同時に、批判的討論であった。その結果、対象国の公衆衛生看護の制度の比較(表1)がまとめられ、国際的に多様な教育と実践の環境において「一貫した教育、リーダーシップの関わり、実践における政策立案」の不足が明らかとなった。また、公衆衛生看護の実践の重要な分野はWHOの文書に説明されている、①家族志向型ケア、②公衆衛生活動、③政策立案の3点であることが考察された。

教育及び実践への活用

国外4カ国の公衆衛生看護師についての資格取得、対象グループ、活動場所、雇用者に関する比較ができたので、これらの国の公衆衛生看護に関する文献の内容理解を深めることができ、公衆衛生看護教育への適切な活用につながる。また、公衆衛生看護実践上、「一貫した教育」、「リーダーシップの関わり」、「政策立案」が重要である、ということについて特に参考にできる。講義、演習、実習を通してこれらの教育を以下の4点を通して実施していく。

1. 講義や演習で国内外の公衆衛生看護の教育・活動についての先進的な取組事例を紹介する
2. 政策や政策立案についての講義や演習の内容を深める
3. 市町村の保健計画策定会議などに学生を参加させる(例:「健康なは21」)
4. 卒業時の到達目標に、政策立案ができるという項目を追加する

参考文献*

Hemingway A, Aarts C, Koskinen L, Campbell B, Chassé F. (2012). A European Union and Canadian Review of Public Health Nursing Preparation and Practice, *Public Health Nursing* 30(1), 58-69.

表1.各国の公衆衛生看護 タイトル、勉強(資格取得)、対象グループ、活動場所、そして雇用者

タイトル	国	訪問看護師 Visiting Nurse (Victorian order of nurse,VON)	地域看護師 District Nurse ホームヘルス看護 師Home Health Nurse	英国: HealthVisitor (family nurse Scotland). カナダ: PHN. スウェーデン: District nurse/Child health nurse. フィ ンランド:Maternity and Child Health Nurse	健康保護看護師 Health Protection Nurses	学校看護師 School Nurse	産業看護師 Occupational Health Nurse	性の健康アド バイザー Sexual Health Advisers
資格取得	英国			R.N.b +: 実践訓練を受けた専門家	R.N. a 更なる訓練を受けた専門家	R.N. a 更なる訓練を受けた専門家	R.N. a 更なる訓練を受けた専門家	R.N. a 訓練を受けた専門家
	スウェーデン		R.N.a +: 公衆衛生看護の訓練を受けた専門家	R.N.a +: 小児看護または公衆衛生看護の訓練を受けた専門家		R.N.a +: 小児看護または公衆衛生看護の訓練を受けた専門家		
	フィンランド		B.N. (R.N.)ab	B.N. (R.N.)ab	B.N. (R.N.)ab	B.N. (R.N.)ab	B.N. a+ 専門家コース修了のポスト	
	カナダ	R.N.b		B.N.a	B.N.&準修士または修士または博士		産業保健看護またはB.N.aにおけるR.N. b&照明	
対象グループ	英国			discretionにおける0-歳の他のグループ	全年齢	学生 + 出席生	従業員	成人と若年者
	スウェーデン		全年齢	0-6歳児の家族と学校の子ども		学生/出席生		
	フィンランド		ホームヘルスを必要としている高齢者	妊婦と家族、学童以下の0-6歳児の家族	全年齢	7-17歳の学生、それ以上の学生または17歳以上の職業訓練生	労働年齢集団	
	カナダ	全年齢		全年齢だが子ども・若者・家族ケアに焦点を当てる	全年齢		従業員	
活動場所	英国		対象者の自宅/G.P. csurgeries(外科?)	対象者の自宅/ G.P.c Surgeries または他の地域サイト	G.P.c practices (実践)	学校看護師	職場	N.H.S./ チャリティ
	スウェーデン		District nurse Surgery, 子ども保健センター, 学校, 保健センター, G.P. c surgeries, 対象者の自宅	子ども保健センター, 学校		学校看護師		
	フィンランド		対象者の自宅	妊産婦と子どもの健康クリニック	G.P.c practices	学校の学生の健康クリニック	職域の健康クリニック	
	カナダ	VONクリニック、Workplaces ホームケア機関		クリニック,学校,大学,家庭,職場,病院	医師・家族医療センター, 地域センター, 病院, ナーシングホーム/ 収容施設ケア		工場, 会社, 学校, 大学	
雇用者	英国			N.H.S.d	健康保護機関	N.H.S.d/ 私立または州立の学校	会社/ 看護師を雇用している機関	N.H.S.d/ 慈善団体
	スウェーデン		州, 自治体, 個人会社	州, 自治体, 個人会社		市役所/ 自治体, 私立学校		
	フィンランド		自治体/ 社会と健康施設	自治体/ 社会と健康施設	自治体/ 社会と健康施設	自治体/ 社会と健康施設	個人会社/ 職域の健康クリニック	
	カナダ	Regional Health authority, 産業, 私立の看護機関, 個々の対象者		地域の保健局, 健康部門管轄所	地域の保健当局, 医師のクリニック, 地域保健センター, ナーシングホーム, 自営業者		工場, 会社, 大学, 政府	

注: 空欄は、この役割がこの国の中に存在しないか、公衆衛生役割と分類されないことを示す

a.B.N. は看護学士、b.R.N. は正看護師、c.G.P.は一般開業医療 (General Medical Practitioner)、d.N.H.S. は国の健康サービス